

令和4年度 第1回（4月）教育委員会定例会会議録

日 時：令和4年4月26日（火）15時～16時分

場 所：村民センター小会議室

出席者：教育長 清水 閣成

委 員 教育長職務代理者 清水 道直

出羽澤 和子・薄田 東・田中 博美

事務局：清水 勝宏 教育次長（欠席）

書 記：池上 博子 以上6名

傍聴人：なし

1 開 会

2 教育長あいさつ

村教育委員会で毎年発行している『学びあい 集いあい 笑いあい』に次のようなことを書かせていただきました。（途中略）

皆さんご存じの突起した「角」をもつ金平糖。金平糖を作るためには熟練された職人さんの高い技術と勤がものをいい、とても手間ひまかかる工程を経て作られています。

私たちは、金平糖にているかなと常々思っています。人それぞれ色も違うし、一人ひとり異なる凸凹がありそれを認めながら生きています。「角」をなくし、丸くなりたいと思いつつも丸くはなかなかならない……。人生100年時代。「角」を大事にしながら、自分に手間ひまかけて金平糖を大きくしていく「学びの履歴の場」を求めてみませんか。

令和4年度第一回目の定例教育委員会です。よろしくお願いいたします。

3 報告・確認事項

(1) 新型コロナウイルス感染症について <会議資料1・2>

*一部非公開

教育長

*資料1・2を基に説明

- ・現在村においては、県の新型コロナウイルス感染症に関する「学級閉鎖・学年閉鎖・臨時休業」の判断基準に基づき、一人でも感染が判明した場合、状況により同一の学級閉鎖等の対応を行っている。国（令和3年8月27日）、長野市（令和4年4月より）では同一の学級において複数の児童生徒の感染が判明した

場合を学級閉鎖の判断基準(長野市では当面の間、小学校3年生以下については、学級内で感染が確認された者が1名であっても学級閉鎖とする)としている。今年度4月の村内の学級閉鎖・学年閉鎖の状況を考察したとき、基準をどう見るかを考えたい。

*村内3校の状況について会議資料にて報告 ※非公開

- 多くが家庭内感染であり、学級内での感染の例は少ない。

教育委員

- 子どもの学びを止めたくないとともに、保護者負担を考えるが、難しさがある。
- 小学校の学級閉鎖の場合、放課後児童クラブも連関する。
- 長野県は全国の中で学級閉鎖の割合は高い状況である。学級閉鎖の基準が異なる故か。

教育長

- 結果的な状況を基に、先を読みたいが感染の状況の移り変わりの中、難しさがある。先日の校長会でも話題にしたが、小学校1~3年と4年~中学を区分するのは納得がいくが、基準の考察の難しさがある見解。
- 連休明けの状況を観ながら、保健所との相談も併せ考察を重ねたい。
- 情報公開については、今回のガイドラインの改訂の中で、学校全体の状況等公表できることは保護者に伝えていくことを心掛けている。

(2) 事故報告 <会議資料3>

※非公開

(3) 児童・生徒数について <会議資料4>

*会議資料にて報告

(4) 各委員から

- 南部小の入学式に出席した。職員室が狭いと感じる。
- 医療的ケアを必要とするお子さんについて、最近マスコミも話題にしている。医療的ケアを必要とする子どもさんを含め、子どもたち皆の育ちを大事にしたい。
- 障がいがある子どもさんへの虐待が多い状況がある。発達障がい等がある子どもさんの育てにくさを親御さんが感じているのではないか。
- 初めての試みで、3月に中学生の卒業をお祝いしてドライブインシアターが行われた。当日雨であったが、商工会のスタッフ他多くの方がサポートしていた。
- ワクワクの昼休みに受付が閉じてしまう状況がある。年度当初は、会員申込等昼休みに事務所に行く方が多いのではないか。申し込み手続きの簡略化を含め、検討してはどうか。

(5) 5月・6月定例会日程について

5月26日(木) 15:00～ 村民センター → 役場 第2会議室(予定)

6月27日(月) 15:00～ 村民センター

(6) その他

①主幹指導主事学校訪問について

6月23日(木) 午後 南部小学校

7月15日(金) 午前 南箕輪中学校 午後 南箕輪小学校

4 その他

5 閉会